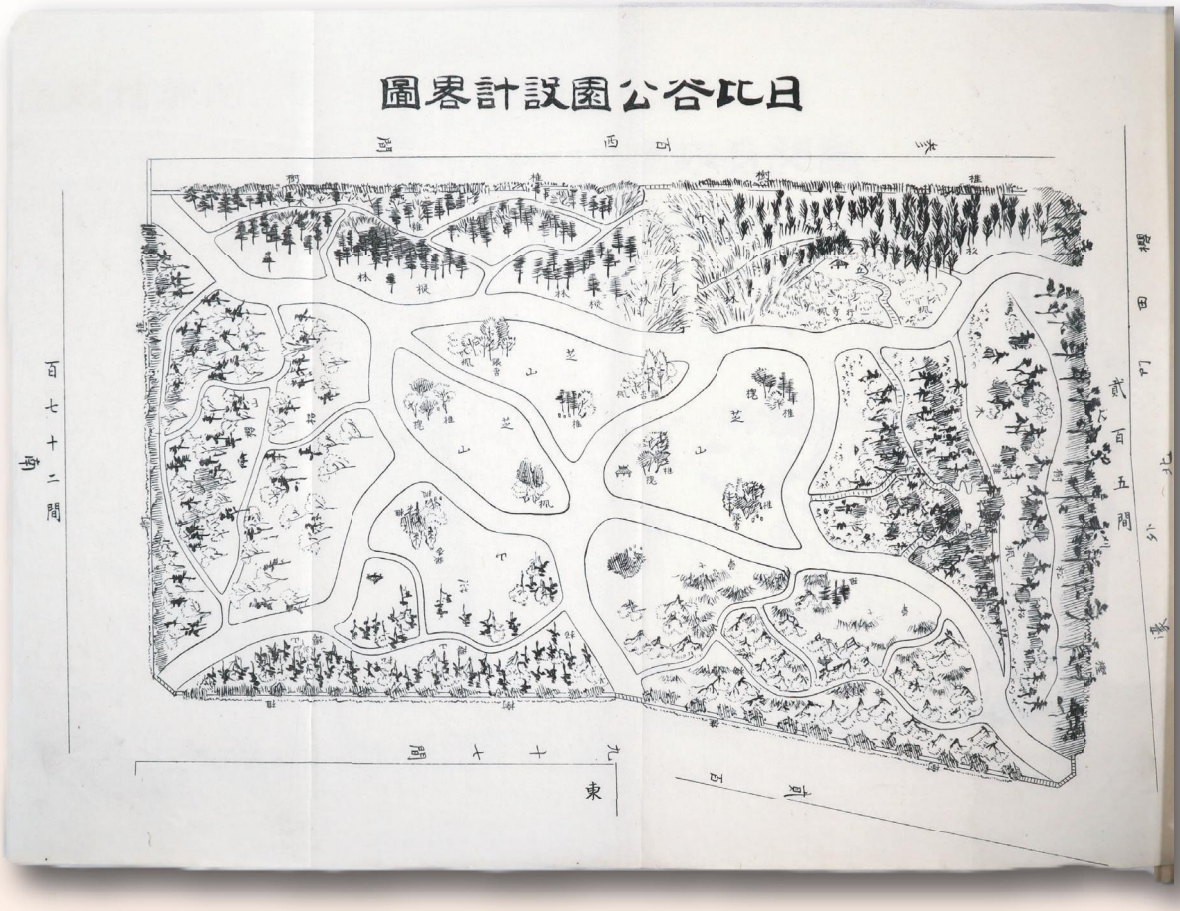
幻の日比谷公園設計



公園改良取調委員の日比谷公園設計略図　明治 31 年（1898）　請求番号：623.A7.07

市区改正事業における公園の新設は、用地取得の難しさもあり、必ずしも順調には進みませんでした。一方、既設公園の改良は断続的に進められ、明治31年(1898)２月には東京市会議員からなる「公園改良取調委員」が選出されました。同委員会の第１回報告には、当時まだ構想段階にあった「日比谷公園設計略図」も添付されています。

この設計案は、兼六園(石川県)や栗林公園(香川県)などの日本庭園を参考にしたものとされています。しかし、日本庭園の色彩が強いこの案は採用されず、最終的にはドイツの公園様式を取り入れた本多静六の設計が採択されました。